

AGC 旭硝子と日本材料技研がバイオ有機酸ベンチャーを設立 —カーブアウトによる休眠技術の事業化を目指して—

AGC 旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）と、日本材料技研（日本材料技研株式会社、本社：東京、代表取締役：浦田興優）は、バイオマスから乳酸等の有機酸を製造するバイオケミカル技術の事業化を目的とした新会社を設立しました。

両社は共同でバイオ有機酸ベンチャーとしての成長を目指す事業会社を設立しました。新会社は AGC 旭硝子が開発した分裂酵母（*Schizosaccharomyces pombe*: S.pombe）を用いた有機酸製造に関する知的財産等の一部を譲り受け、また AGC 旭硝子より技術者の出向も受けながら、早期の事業化を目指します。さらに、分裂酵母による有機酸製造技術をコアとして、既に AGC 旭硝子にて基礎開発が完了している D（-）乳酸等の事業化を進めるとともに、他の有機酸製造技術の開発にも継続的に取り組んでいきます。

AGC グループは、経営方針 **AGC plus** で掲げる企業価値の向上に向けた施策の一環として、安全・安心に寄与できる社内の技術シーズの有効活用を目指し、カーブアウト・ライセンスアウト・知財権売却等を推進しております。今後も継続して、ベンチャー企業やベンチャーキャピタルとも連携しながら、オープンイノベーションを通じた自社技術の価値最大化を進めてまいります。

●合併会社の概要

(1) 名称	JMTC エンザイム株式会社
(2) 代表者名	鎌田 俊
(3) 出資比率	日本材料技研 92%、 AGC 旭硝子 8%
(4) 本社所在地	東京都中央区
(5) 設立年月日	2016年3月1日

●当事会社の概要

(1) 商号	旭硝子株式会社	日本材料技研株式会社
(2) 所在地	〒100-8405 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号	〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目17番5号
(3) 代表者名	代表取締役・社長執行役員 CEO 島村 琢哉	代表取締役 浦田 興優
(4) 設立年月日	1950年6月1日	2015年8月11日
(5) 資本金	90,873 百万円	50 百万円
(6) 主な事業内容	ガラス、電子、ディスプレイ製品及び 化学製品等の製造・販売	素材・化学分野における革新的技術の インキュベーション

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 小林 純一

（担当：鳥山 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）